







41金、同龍、21桂、同龍、

同銀／28飛、12金、同玉

／49金、24桂、13玉、

12桂成、同銀／29桂、24銀、

同玉／39銀、34と／33歩、

同桂／37歩、33馬、同玉、

83龍、73歩、同龍、63歩、

同龍、43歩、同龍、同玉、

44歩、54玉、55歩、65玉、

66歩、同玉、67香、55玉、

47桂、44玉、45歩、同玉、

46歩、同桂迄47手。

〔変化〕38手目66歩のところ

67香は55玉以下早い。

【最悪詰】攻方はなるべく相

手玉が詰まないように王手

し、受方はなるべく早く自

玉が詰むように応じる。

作者―駒取りがテーマという

ことで、キルケで玉周囲の

邪魔な駒をたくさん発生さ

せて自殺するものを作って

みました。

☆常に前人未踏の表現領域を

意欲的に切り拓く金子氏。

今回は最悪詰で、自殺詰で、

キルケで、とどめに受先形

式という、ルールを聞いた

だけで目眩がしそうな作品

での登場です。

☆ただ、「最悪＋自殺」は、

受方の立場に立つて考えれ

ば、「(自分ではなく)相手

に王手義務のある詰将棋」

と解釈できますし、キルケ

ルールは「復活した駒で攻

方王の退路を塞ぐ」という

構想のヒントにもなります。

こうして作者の意図を看破

し完璧な解答を送ってきた

のがこの方です。

真T―初手に打った桂が2段

跳ねてとどめ。初形で攻方

玉の周りには何も無いのに

詰上りでほぼ全方位囲まれ

ているのが面白いですね。

どうせなら48も埋めて欲し

かったです。

☆構想を見抜けば手順は意外

と難しくありませんが、7

手目51桂が重要な伏線。こ

れを怠ると40手目67香で桂

を入手することができない

のです。ところが、この手

に関してこんな評が……。

須川卓二―一応書いたけど、

この順だと8手目に21桂で

不詰か。

☆駒井氏も同様に正解を解答

した上で右記のような疑問

を呈しています。ここは間

違い易い所ですが、攻方には

王手義務があるので、8

手目は51龍／81桂を選ぶし

はありません。51龍／21桂

は王手にならないので、他

の王手にならない合法手

(例えば24銀)と同列の扱

いなのです。初形で龍が73

ではなく63に配置されてい

る理由もここにあります。

(73龍だと7手目51桂を61

桂としても良くなる。)

☆このように実力解答者をも

戸惑わせた本作ですが、初

手の桂打から最終手の桂跳

まで首尾一貫した手順は、

非常に論理的で明快です。

ルール設定の新奇さで敬遠

された方もぜひ盤に並べて

鑑賞してください。

【解答成績】(太字5名当選)

【全題正解】駒井信久、真T、

須川卓二(4題) 増田智彬

【3題】市村道生

【2題】今川健一、神谷薫

【1題】天津包子

【0題】安原嗣治、かい賊